

(7) シーツの貸出・返却

[貸出]

- 到着日にリネン室より使用する分だけお取りください。
- ※ 1人分は「シーツ2枚」、「枕カバー1枚」です。
- ※ 事前に申請が出された枚数をご準備しています。
- ※ 団体名が表示されています。
- 準備されているシーツが必要枚数より多い場合、不要となるシーツは、棚に戻してください。
- 準備されているシーツが足りなかった場合、予備シーツから不足分をお持ちください。



[返却]

- シーツは、写真のとおりにまとめて、部屋点検開始前までにリネン室に返却します。



(8) 宿泊棟・テント点検

宿泊棟 8:30~9:00 頃

テント 8:30~10:00 頃

※8:30 以前の点検の場合は、原則としてお受けできません。

- 寝具のたたみ方、宿泊棟・テント等の清掃状況を確認します。
- 各団体原則1棟につき1名以上 (AB 両棟使用であれば2名以上)、点検に立ち会ってください。
- 点検の準備ができましたら、内線電話 (220) にて自然の家事務室までご連絡ください。

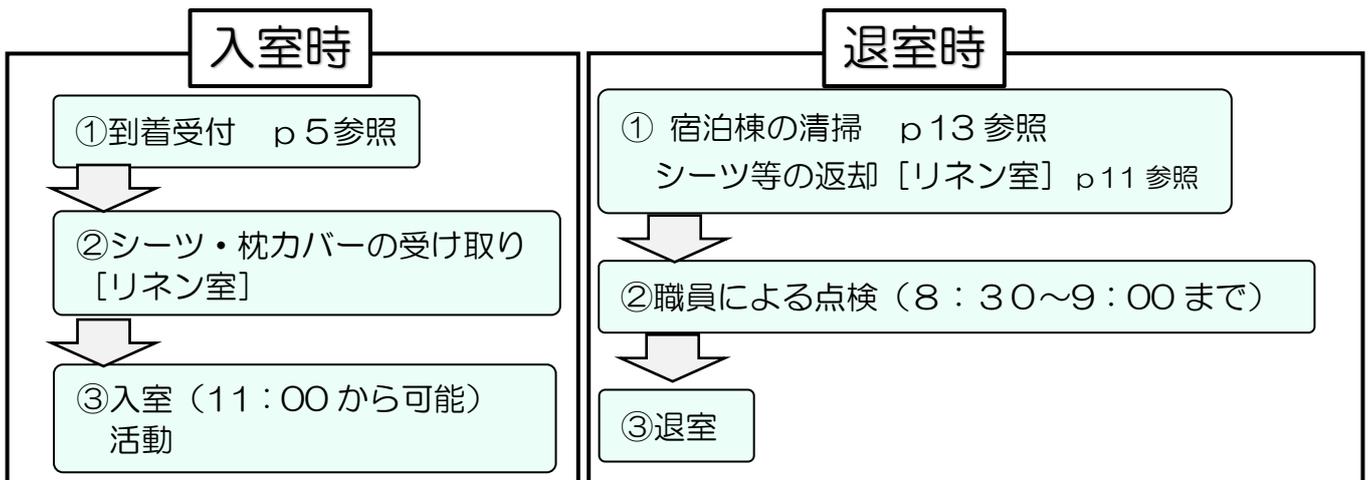
(9) つどい ※活動に支障がない限り、原則参加していただきます。

朝のつどい (7:00~7:15)	夕べのつどい (16:45~17:00)
<p>[場所] かんぼラジオ体操広場</p> <p>[内容] ①国旗・所旗の掲揚 ②団体名の呼名 ③ラジオ体操 ④諸連絡</p> <p>※雨天の場合及び冬季間(11~4月)は、6時30分から館内放送にてラジオ体操の放送等を行います。</p>	<p>[場所] かんぼラジオ体操広場</p> <p>[内容] ①国旗・所旗の降納 ②団体ごとに自己紹介 ※1分程度の内容で事前にご準備ください。 ③仲間づくりゲーム ④諸連絡</p> <p>※雨天の場合及び冬季間(11~4月)は行いません。</p>

- 状況により場所を変更する場合は、到着受付や朝の館内放送等でお知らせします。
- 始まる前に団体ごとに整列をします。
- 国旗・所旗の掲揚及び降納のお手伝いをお願いする場合があります。

3 本館宿泊室の利用

(1) 入室時、退室時の流れ



(2) 宿泊棟の設備

- ハンガー、座布団、机 ○ ホワイトボード (各棟談話室に設置)
- 清掃用具 (ほうき、ちりとり、雑巾、掃除機、フローリング用モップ、粘着カーペットクリーナー等)



宿泊棟入口



宿泊室 (8人部屋)



リーダーーム (和室)

※ 棟により、ベッドの配置、和室・洋室等が異なる場合があります。事前打合せや下見等でご確認ください。

(3) 宿泊棟の鍵

- 到着受付時に、宿泊棟入口の鍵をお渡します。宿泊棟以外の場所や屋外で活動する際は、必ず入口を施錠してください。なお、リーダーーム以外の部屋は室外から施錠することはできません。
- 施設敷地外で活動する場合は、必ず自然の家事務室に宿泊棟の鍵を預けてください。
- 退所日の部屋点検の際に、点検担当の職員に鍵を返却してください。

(4) 配室

- 団体の人数や男女比等を考慮して、自然の家で宿泊棟の配室・調整を行います。
- 他団体と宿泊棟が共有となる場合があります。
- 保健室、予備室として宿泊室を別途配室することはできません。

(5) 利用上の留意点

- **飲食は談話室でお願いします。宿泊室では、飲食できません。**
- 談話室、洗面所、トイレ等の共有スペースは、各団体で譲り合ってください。
- ドライヤー等の消費電力の大きい電化製品は、ブレーカーが落ちますので使用できません。
- 鼻血・夜尿等で寝具が汚れた場合は、事務室にご連絡ください。クリーニング代が別途かかる場合があります。
- トイレの汚物入れの処理は、清掃業者が行います。
- 滞在中に宿泊棟を出られる際には、部屋や階段等の電気を消していただき、節電にご協力ください。

(6) 寝具

かけぶとんや毛布のたたみ方・置き方

かけぶとん(2回おい) 毛布(3回おい)

チェック2

チェック1

シーツ・まくらカバーのセットの仕方

まくらカバー **シーツ**

かけぶとん
毛布
白マット
しきぶとん

シーツ

- ◎シーツ2枚、まくらカバー1枚を図のようにセットします。
- ◎シーツとシーツの間に入って寝ます。

チェック1(たたみ方)

角をととのえ、白マットはベッドからはみ出さないようにする。

(手前側と通路側におり目！)

チェック2(かさね方)

下から①かけぶとん→②毛布→③まくらの順でかさねる。(見た目をキレイに！)

チェック3(おき方)

写真のある側に置く。

(7) 宿泊棟清掃の仕方

※こちらは、アンドロメダ棟のチェック用紙例です。

ヒーター

荷物だな

写真1 写真2 写真3 写真4 写真5

★ごみ箱について★

宿泊棟内の清掃で出たごみやトイレトペーパーの芯は宿泊棟のごみ箱に捨てましょう。

各団体が持ち込んだ物については、持ち帰りましょう。

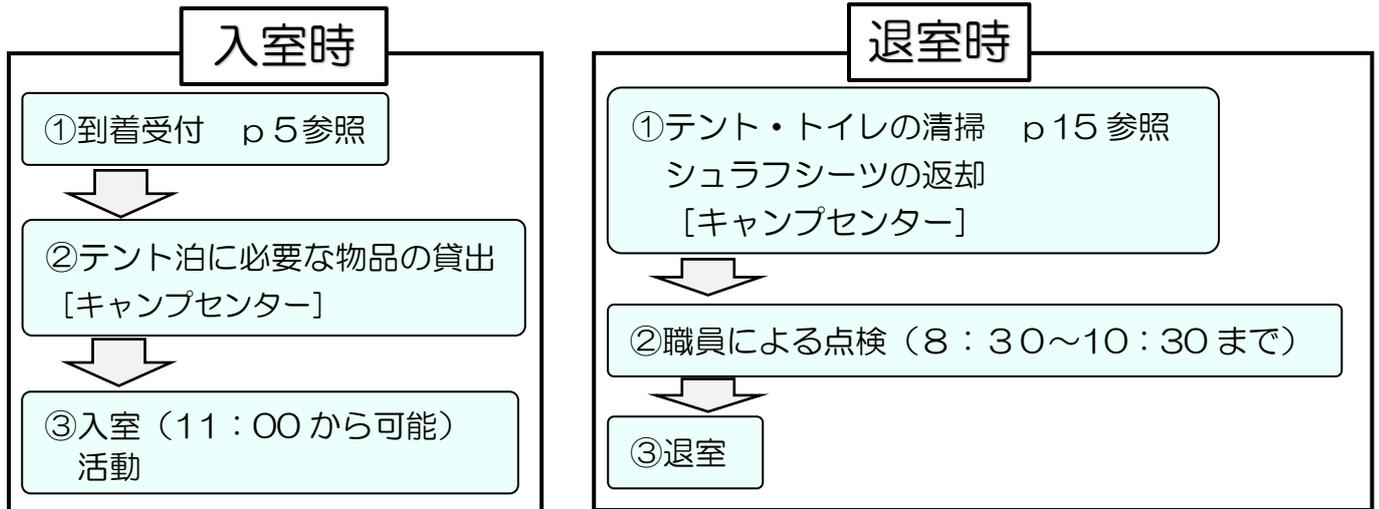
談話室・宿泊棟をきれいにするポイント	チェック	
	前泊たちで	発室や天久と
・寝具を整え、表示側に置きましょう。(写真1)		
・ハンガーの数を確認して、元の場所に戻しましょう。(写真2)		
・木戸とあみ戸を開けましょう。		
・まどを開め、レバーを右にたおしましょう。(写真3)		
・テーブルを水拭きして、元の場所に戻しましょう。		
・荷物だなを水拭きしましょう。		
・廊下、階段のゴミをほうきや掃除機などで取りましょう。		
・ポットの中身を空にしましょう。		
・電気はOFF、暖房はLOにしましょう。		

トイレや洗面所をきれいにするポイント	チェック	
	前泊たちで	発室や天久と
・トイレのスリッパをそろえましょう。(写真4)		
・トイレの床をほうきではききましょう。		
・便器をブラシでみがきましょう。		
・洗面所のシンクをスポンジでみがきましょう。		

※たな等の場所は、宿泊室によって若干変わります。

4 キャンプ場の利用

(1) 入室時、退室時の流れ



(2) キャンプ場の施設・設備

- テント：8人用常設テント 12張
7人用組立式テント 6張 4人用組立式テント 8張

※組立説明書は、自然の家事務室で貸出できます。



常設テント



組立式テント

- キャンプセンター：洗面台、わんぱくルーム（荒天時避難用、共有スペース）
- シャワー室：男子5基 女子5基（ボディソープ・リンスインシャンプー設置有）

※利用時間 17:20~22:00

※事前予約が必要となります。事前打合せまたはメール等によりご相談ください。

(3) 貸出物品

- シュラフ、グランドマット等、テント泊に必要な物品
- ランタン

(4) キャンプ場管理人

- 6~9月は、7:30~14:30まで管理人がキャンプセンターに常駐します。
- 野外炊事点検、テント点検等の際はお声がけください。

(5) 利用上の留意点

- 食べ物や飲み物をこぼさないようにしてください。
- 夜間は大変暗くなりますので、懐中電灯やヘッドライト等をお持ちください。
- トイレは、次の方も気持ちよく使えるようにきれいに使ってください。

(6) シュラフの使用

① シュラフの使用

1 シュラフを袋から出して、袋をなくさないようにシュラフに結びつけておきます。

2 シュラフシーツのひもを結びます。
4つのうち2つが3つ結んでおくといいです

3 シュラフシーツをシュラフの中に入れます。足元まで丸まらないように手を入れて伸ばしながら入れます。

4 完成





② シュラフの片付け

1 シュラフからシュラフシーツを取り出し、シュラフのひもをほどきます。シュラフは、奥に手を入れ、裏返しにします。
ひもをほどきます

2 裏返したシュラフを天日干しします。雨天時は、キャンプセンター2階をご利用ください

3 干した後にたたみ、できるだけ小さく丸めます。
頭の部分を折ります 縦に半分を折ります
小さく丸めます 足の方から空気をぬきながら、丸めると良いです
押入れの前に、数えやすいように並べると、点検がしやすくなります

4 袋に入れ、キャンプセンター2階に返却します。





(7) テント場の清掃の仕方

テント清掃のポイント	チェック		トイレ清掃のポイント	チェック	
	自分たちで	先輩や大人と		自分たちで	先輩や大人と
①自分たちの荷物を整理して、外に出します。			①トイレの床をほうきではきます。		
②出入口を空けて、換気します。			②床に水をまいて、デッキブラシでみがきます。		
③シュラフシーツをはすし、まとめて、キャンプセンター2階の使用済みのシュラフシーツ入れに返します。			③床を水切りします。		
④シュラフのごみを取り、裏返して、干します。 晴れ…近くの木 雨…キャンプセンター2階			④便器をみがきます。		
⑤テント内を、ほうきではきます。汚れがひどいときは水ぶしします。			<p><テント用></p> <p>○ほうき・・・各テント出入口の横に置いてあります。</p> <p>○ぞうきん・・・キャンプセンター1、2階にあります。</p> <p><トイレ用></p> <p>○A棟横、D棟横トイレはともに、女子トイレに清掃用具置き場があります。</p> <p>※ほうき4本、デッキブラシ2本、水切りワイパー2本、ちりとり1つ</p> <p>○便器をみがくブラシは、それぞれ男女のトイレに置いてあります。</p> <p>○使ったトイレは、必ず清掃しましょう。</p>		
⑥テントの周りのごみを拾います。			<p>清掃用具の置き場所</p>  		
⑦ランタンと熊鈴をキャンプセンターに返します。					
⑧シュラフをたたんで、キャンプセンター2階に持って行きます。					
⑨出入口は開けたままにしておきます。					

テント、トイレの清掃が終わったら...点検を受けましょう。

自然の家事務室（内線220）に連絡するか、キャンプセンター事務室にいるキャンプ場管理人に点検を依頼してください。

5 食堂の利用

(1) 座席数 240 席 (8 人用テーブル 30 卓)

- 子供用の椅子、予備椅子が入口付近にあります。



(2) 優先席 [対象：保育園、幼稚園、認定こども園、特別支援学校 等]

- A 時間の 15 分前から入室できます。(p 12 「(2) 食堂の営業時間」参照)
- 食堂出口より入室します。
- 指定されたテーブルで食事をとります。
※「優先席」の表示があります。
※希望の席がある場合は、事前打合せにてご相談ください。
- 高さ調整可能なテーブルが 2 台あります。希望する場合は、ご連絡ください。
- 混雑時は、食事の終了時刻を指定させていただく場合があります。

(3) 配膳方法

食堂のメニューは、自然の家ホームページ(『ご利用案内』の下ページ)で前月の 10 日頃から確認できます。

- 食堂利用人数が 31 人以上：バイクング方式
- 食堂利用人数が 31 人未満：盛付方式
(お皿に盛り付けた状態で提供します。おかずのおかわりはできません。)

(4) 水筒への補充

- 水筒の中身を冷水器で補充できます。
- やかんでお茶を作り、水筒に補充することができます。 } 6:30~22:00 まで利用可
(食堂営業日のみ)
- 食堂が提供している食事用ドリンクバーや牛乳等を持ち帰ることはできません。
- 水筒の衛生管理は団体でお願いします。

(5) 利用上の注意点

- 営業時間を過ぎての食事、休憩場所としての利用はできません。
- 空席ができないように座ってください。他団体と相席になる場合があります。
- 食事が終わった後は、使用したテーブルを指定のふきんで拭いてきれいにしてください。
- 混雑時は、食べ終わったグループから順次片付けを始めるなど、全ての団体が利用しやすくなるようにご協力をお願いします。
- 食物アレルギーにかかわる対応につきましては p24~26 をご確認ください。必ず引率者が立ち合い、誤食・誤飲がないようにしてください。

6 お風呂の利用

(1) 大浴場 ※入浴時間 (p11 「(3) 入浴時間」参照)

① 風呂場 男性：ひこぼし 女性：おりひめ

○ 全宿泊利用者数により、使用する風呂場を変更する場合があります。その際、自然の家より団体担当者に事前にご連絡します。



② 設備・備品

- シャワー (ひこぼし 25 基、おりひめ 20 基)
- ボディーソープ、リンスインシャンプー
- ドライヤー (ひこぼし 4 台、おりひめ 5 台)
- 脱衣置場 (ひこぼし 84 個、おりひめ 48 個)

③ 利用上の留意点

- 22:30 より清掃業者が浴室及び脱衣所の清掃を行いますので、それまでに退室してください。
- 風呂場は共有スペースです。他団体と同時刻に入浴することがあります。
- 脱衣所の床が濡れていた場合、モップで拭いてください。
- 引率者も子供たちと一緒に入り、入浴マナーの指導と安全管理をお願いします。

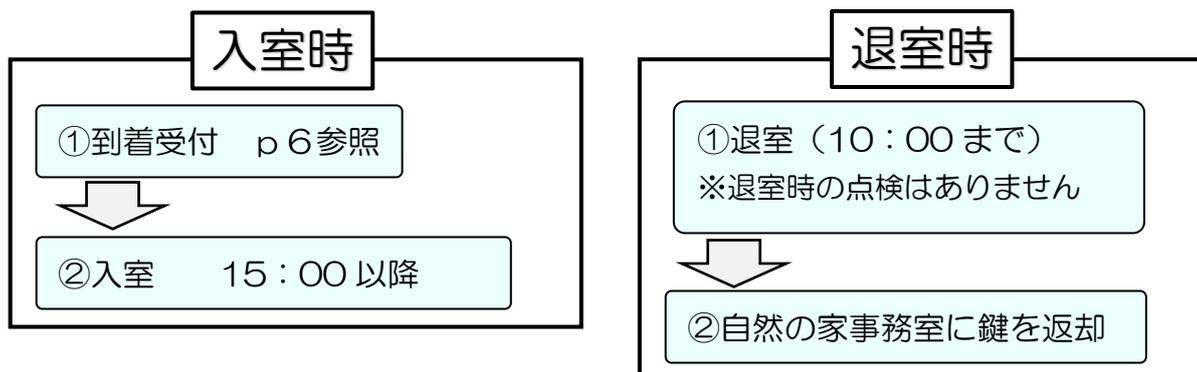
- ① タオルをもって、浴室に入ること。
- ② 体を洗ってから、湯船に入ること。
- ③ 大きい声を出したり、泳いだりしないこと。
- ④ 使い終わった物は、もとの場所に片付けること。
- ⑤ 浴室でよく体を拭いてから、脱衣所に行くこと。

(2) オリオン棟浴室

- バリアフリー対応 シャワー 4 基 ドライヤー 1 台
- 利用時間 17:20~22:00
- 特別な配慮・支援を要する利用者等がいる場合に利用できます。ご利用には事前予約が必要となりますので、事前打合せまたはメール等にてご相談ください。
- 利用予定時間終了後は、業者が夜間に浴室清掃作業を行います。腕章をつけた作業員が作業のためオリオン棟入口から入室しますので、あらかじめご承知おきください。

7 ゲストルームの利用

(1) 入室、退室時の流れ



(2) 利用上の注意事項

- 利用にあたり、事前予約、申込書の提出が必要となります。事前打合せまたはメール等にてご連絡ください。
- 各団体の外部指導員等の宿泊場所としてご利用できます。その他の方の利用につきましては、自然の家で調整いたしますので、必ず事前打合せ、またはお電話にてご連絡ください。
- バスの運転手、添乗員の宿泊場所としてのご利用はできません。
- 別途費用がかかります。p7をご確認ください。

8 食品の持ち込み

(1) 食品の持ち込み

- 食中毒防止のため、原則として食品の持ち込みはできません。
- 食物アレルギーの対応により、食材の持ち込みを認める場合がありますので、事前打合せ、またはお電話にて食堂事務室（0255-78-7267）までご相談ください。

(2) 飲酒

- 原則、アルコール類の持ち込みはできません。
- 情報交換会は、プログラム上必要と認められた場合のみ、許可します。認められた場合、以下の手順、ルールを守ってください。守れない場合は、退所をお願いしたり、以後のご利用をお断りしたりする場合があります。

- ①活動計画表に明記し、事前に自然の家に連絡する。
- ②メニューは事前に食堂に注文する。（利用中の追加注文は不可）
- ③時間は19:30~22:00までとし、場所は食堂で行う。
- ④団体内の未成年者が情報交換会とは別会場にいる場合、必ず監督者を付ける。
- ⑤食堂の利用の方法を確認し、終了後は、速やかに片付け、宿泊室へ戻る。
- ⑥消灯時刻は厳守する。
- ⑦飲酒によって、他団体に迷惑をかけないようにする。

9 ごみの取り扱い

(1) 自然の家で購入した物

- 食堂で購入した物については、無料でゴミ袋が付き、以下のとおり、捨てることができます。

種別	ごみの種類	ごみ置き場		
		夏季	冬季	
食堂購入品	野外炊事食材	紙ごみ・プラごみ・生ごみ	ごみ置き場	食堂事務室
		缶・ビン	食堂事務室	
	弁当・飲み物	紙パック・弁当・おやつ等のごみ	ごみ置き場	
		ペットボトル	食堂事務室	
		飲み物・弁当につく段ボール		
教材	クラフト作成の際に出たごみ	ごみ置き場		

※自動販売機で購入した缶、ペットボトルにつきましては、自販機側のごみ箱へ捨ててください。

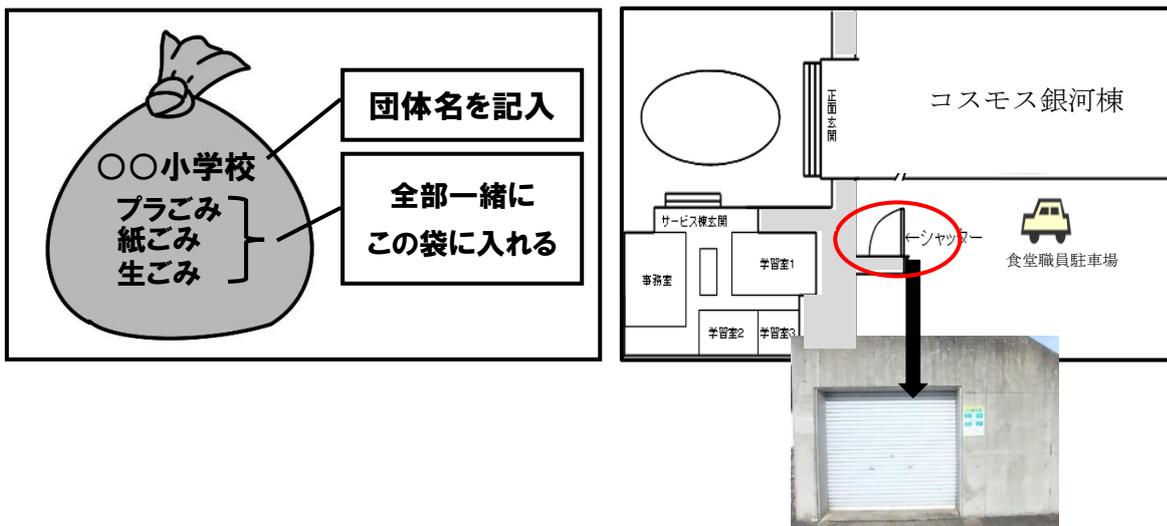
(2) 団体が持ち込んだ物

- 団体が持ち込んだ物につきましては、以下のとおり、処分できる物とできない物があります。
- 団体が持ち込んだ物を処分する場合は、食堂事務室にて、ゴミ袋（70L、1袋100円）を購入してください。

処分可○	処分不可×
利用初日の持ち込み弁当ガラ おむつ 紙ごみ プラごみ 生ごみ	

(3) 捨て方

- 紙ごみ、プラごみ、生ごみは、まとめてゴミ袋に入れてください。
- ゴミ袋に団体名を明記してください。
- 缶・ビン類は、中を水洗いしてから、ゴミ袋に入れてください。
- 野生動物を呼び寄せないため、生ごみは速やかに処理し、所定の場所に捨ててください。
(夏季は下記右図のゴミ捨て場へ捨ててください。冬季は食堂事務室に渡してください。)



10 館内・敷地内全面禁煙

- 原則、敷地内は禁煙です。喫煙は、決められた場所でのみ可能です。
- 喫煙場所：サービス棟、キャンプセンター

11 洗濯機・乾燥機の使用

(1) 場所 コスモス銀河棟大浴場前

(2) 設備 洗濯機3台、乾燥機2台

(3) 利用上の留意事項

- 無料で使用できます。
- 団体名を記入するカードがありますので、貼って使用してください。
- 混雑時は1団体1台ずつ使用いただき、複数台の使用、長時間の使用はご遠慮ください。
- 洗剤は、食堂事務室で購入（1回分30円）するかご持参ください。



12 乾燥室

- 長靴、スキーウェア等の乾燥に使用できます。
- 共有スペースのため、他団体と共有で使用する場合があります。
- 冬季間は、暖房が利用できます。（6：00～22：30まで）
暖房のスイッチが壁面にありますので、各団体でオン・オフの操作をしてください。



13 Free Wi-Fi

○ 場所（使用できる場所には、右の写真のような表示があります）

- ①サービス棟 ②コスモスホール ③ミーティングルーム
- ④プレイホール ⑤スバルホール

※ コスモスホール以外は、活動場所として割り振りをしていますので、使用できない場合があります。



14 AEDの設置場所

○ AED（自動体外式除細動器）を館内の2か所に設置しています。

- ①なかよしホール ②自然の家事務室



15 思いやりのリレー運動

(1) 思いやりのリレー運動とは

自然の家では、社会性・公共心の育成のために「思いやりのリレー運動」を実施しています。「思いやりのリレー運動」とは、「今この瞬間に行っている体験活動」が、実は以前使用した利用者が、次に使う人のために「使った場所をきれいにしよう」「使いやすいように整理しよう」という気持ちをもって取り組んだ先にあるものであると捉え、「思いやりをつないでいこう」という運動です。

今日、子供たちが豊かな体験活動に取り組むことができるのは、これまで自然の家を使用してきたたくさんの方々が、思いやりのバトンをつないできてくれたおかげです。

ぜひ、「思いやりのリレー運動」を通して、子供たちの優しい気持ちや責任感の育成にお役立てください。

(2) 思いやりのリレーのポイント

思いやりのルーツを考える

皆さんが使用する宿泊室、浴室、食堂などの施設や、活動で使った道具は、皆さんの前に使用した方々が、皆さんのために丁寧に使い、そして清掃をしてくれたものです。

思いやりをつなぐ先を考える

皆さんの次にこの自然の家を利用する人たちのために、心を込めて、使った部屋の清掃をし、道具の片付けを行うことで「次の使う方のために」の豊かな体験活動につながっていきます。

「決まりだから」というのではなく、「次に使う方のために」という思いやりの気持ちが、次の利用者の皆さんへとつながっていくことを意識してみてはいかがでしょうか。

体験活動の一つとしての「思いやりのリレー」運動

「思いやりのリレー運動」も、野外炊事やハイキングと同じように、自然の家の大切な体験活動の1つです。自然の家では、「思いやりのリレー運動」を通して、子供たちに優しい気持ちや、責任感が育ってほしいと考えています。